

## 10月25日(木)

8:55 ~ 9:00 開 会 挨 拶

- 9:00 1. ミカンサビダニを餌としたときのカブリダニ3種の捕食および発育  
○岸本英成・大平喜男(果樹研カンキツ)
- 9:15 2. 土着天敵キイカブリダニによるコナジラミ類の密度抑制効果  
○古味一洋(高知農技セ/高知大・農・昆虫)・荒川 良(高知大・農・昆虫)
- 9:30 3. キイカブリダニによるアザミウマ類の捕食数  
○望月雅俊(果樹研)
- 9:45 4. オウトウハダニ、ナミハダニ吐糸化学成分がケナガカブリダニを定着させる？  
○深谷 緑・刑部正博(京大院・農・生態情報)
- 10:00 5. 真珠体が似合うのは若いうちだけ  
○小澤真由子・矢野修一(京大院・農・生態情報)
- 10:15 6. 何故被食者のハダニではなく捕食者のカブリダニが逃げ隠れするのか？  
○矢野修一・小澤真由子・刑部正博(京大院・農・生態情報)
- 10:30 7. カブリダニを引きこもらせる  
○川崎倫久・矢野修一・刑部正博(京大院・農・生態情報)
- 10:45 8. ゴミコナダニ *Sancassania mycophagus* から新規の脂肪酸エステルを同定  
○桑原保正 (京都学園大・バイオ環境学部・バイオサイエンス学科)
- 11:00 9. 家塵ダニの単純化学物質の病原性  
○中山秀夫・久米井晃子(中山皮膚科クリニック)・森 直樹・桑原保正(京大院・農)
- 11:15 10. 新規ダニアレルゲン  $\alpha$ -acaridialによるマウス皮膚炎モデルの確立  
○平野裕之介<sup>1</sup>・前田清香<sup>1</sup>・松永 勇<sup>2</sup>・大塚篤司<sup>2</sup>・森田大輔<sup>2</sup>・杉田昌彦<sup>2</sup>・西田律夫<sup>1</sup>・中山秀夫<sup>3</sup>・桑原保正<sup>4</sup>・森 直樹<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京大院・農・応用生命・<sup>2</sup>京大ウイルス研・<sup>3</sup>中山皮膚科クリニック・<sup>4</sup>京都学園大)
- 11:30 11. マダニ *Ornithodoros moubata* における卵黄タンパク質とその制御因子の発現解析  
○堀金麻理(筑波大・生命環境)・DeMar Taylor(筑波大・生命環境)
- 11:45 12. フトゲチマダニのピテロジェニンレセプターの同定と特性解明  
Boldbaatar, D.<sup>1</sup>・Sikasunge, C.S.<sup>2</sup>・Battsetseg, B.<sup>2</sup>・松尾智英<sup>3</sup>・玄 学南<sup>2</sup>・○藤崎幸蔵<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大・農・新興感染症, <sup>2</sup>帯畜大・原虫研, <sup>3</sup>杏林大・医・寄生虫)
- 12:00 13. Identification and characterization of FK506-binding protein from hard tick *Haemaphysalis longicornis*  
○Boldbaatar, D.<sup>1</sup>・Kilonzo, R.M.<sup>2</sup>・Battur, B.<sup>1</sup>・梅宮梨可<sup>1,2</sup>・Liao, M.<sup>1</sup>・田仲哲也<sup>1</sup>・玄 学南<sup>2</sup>・藤崎幸蔵<sup>1</sup>(<sup>1</sup>鹿児島大・農・新興感染症, <sup>2</sup>帯畜大・原虫研)
- 12:15 14. フトゲチマダニ由来新規オートファジー関連遺伝子の単離・同定および未吸血期における発現  
○梅宮梨可<sup>1,4</sup>・松尾智英<sup>2</sup>・八田岳士<sup>3</sup>・Boldbaatar, D.<sup>4</sup>・田仲哲也<sup>4</sup>・藤崎幸蔵<sup>4</sup>(<sup>1</sup>帯畜大・原虫研, <sup>2</sup>杏林大・医・寄生虫, <sup>3</sup>農研機構・動衛研, <sup>4</sup>鹿児島大・農・新興感染症)

12:30 ~ 13:30 昼 食 休 憩

- 13:30 ~ 14:30 総 会
- 14:30 ~ 14:50 写 真 撮 影
- 15:00 ~ 16:00 特別講演「ダニと父と私 ~環境と人との共存を目指して:生物農薬とケミレスタウン~」  
森 千里  
千葉大学大学院医学研究院 教授/千葉大学環境健康フィールド科学センター 副センター長
- 16:00 ~ 16:15 休 憩
- 16:15 15. ヤドリダニ科 *Poecilochirus carabi* complexの分類  
○高久 元・藤原 崇・尾崎令奈(北教大・札幌)
- 16:30 16. 北海道大黒島で採集された注目すべきササラダニ類  
○島野智之(宮城教育大・EEC)・青木淳一(横浜国大・名誉教授)
- 16:45 17. 針葉樹と広葉樹の混交がササラダニ群集に与える影響  
○太田藍乃(横浜国大・環境情報)・長谷川元洋(森林総研木曾)・伊藤雅道(横浜国大・環境情報)
- 17:00 18. 丹沢山地のブナ樹皮に生息するササラダニ群集  
○山本圭美・伊藤雅道・尾崎泰哉(横浜国大・環境情報・土壤生態学)
- 17:15 19. Vertical distribution of oribatid mite (Acari: Oribatida) communities in differential fire intensity  
○Kim, J.W.・Jung, C. (Dept. of Bioresource Sciences, Andong Univ., Korea)
- 17:30 20. 条件の異なる林間放牧地における土壌性ダニ類について  
○大竹秀男(宮城大)・大槻和夫(畜草研)・竹田謙一(信州大)・出口善隆(岩手大)・佐藤衆介(東北大)
- 17:45 21. ミズモンツキダニの飼育成績  
○栗城源一(奥羽大・生物)
- 18:00 22. 市販の使い捨てカイロを熱源として用いた垂直式抽出装置とTullgren 装置のササラダニ抽出効率の野外における比較  
○福山研二(森林総研)
- 18:30 ~ 20:30 憩 親 会 (生協2階 職員食堂)

## 10月26日(金)

- 9:00 23. ナミハダニは飛び降りる  
○大空鷹介・矢野修一(京大院・農・生態情報)
- 9:15 24. ナミハダニの野外個体群における交尾雌率と雌雄比  
○森田晃将・北嶋康樹・後藤哲雄(茨城大・農・応動昆)
- 9:30 25. Performance of seventeen tetranychid mite species on borage and strawberry  
○El-Shafei, G.M.A. (Tanta Univ., Egypt/Ibaraki Univ.)・Kitashima, Y.・Gotoh, T. (Ibaraki Univ.)
- 9:45 26. チビコブツメハダニおよびツバキに寄生する *Oligonychus* sp. の生活史パラメータ  
○北嶋康樹・井本一弘・後藤哲雄(茨城大・農・応動昆)
- 10:00 27. イネ科植物に発生するハダニ類ー台湾・宮古島・内モンゴルの個体群についてー  
○後藤哲雄(茨城大)・何 琦琛(台中市)・洪 曉月(南京農大)・高 立東・李 桂英(内蒙古農科院)・宮城聡子(沖縄農試)
- 10:15 28. 土壌水分と空気中湿度がホウレンソウケナガコナダニの土壌中の生息場所選択に与える影響  
○松村美小夜・荒井 滋(奈良県農総セ)
- 10:30 29. 光の波長および強度がナミハダニの休眠に及ぼす影響  
○福永佳史(千葉大院・園芸)・鈴木丈詞(神戸大・自然科学)・天野 洋・後藤英司(千葉大院・園芸)
- 10:45 30. ナミハダニの光感受性ーアシルアルキルアミンN-アセチル転移酵素活性およびメラトニン合成阻害の作用スペクトルー  
○鈴木丈詞・竹田真木生(神戸大・自然科学)
- 11:00 31. Study on natural enemies of brown mite, *Bryobia rubrioculus* (Scheuten) (Acari: Tetranychidae) in plum, sweet cherry and black cherry orchards in Hamedan  
○Khanjani, M. (Bu-Ali Sina Univ., Iran/Ibaraki Univ.)・Gotoh, T. (Ibaraki Univ.)
- 11:15 32. A new *Brevipalpus* mite (Acari: Tenuipalpidae) from fruit trees in Jaranwala (Punjab), Pakistan  
○Hasan, M.U. (Univ. of Agriculture, Faisalabad, Pakistan/Ibaraki Univ.)・Gotoh, T. (Ibaraki Univ.)
- 11:30 33. アカリナリウムは何故発達したかーホストが寄生性ダニを運ぶ理由ー  
○岡部貴美子・牧野俊一(森林総研)
- 11:45 34. 日本にやってくる外来ダニの生態リスク  
○五箇公一(環境研)・岡部貴美子(森林総研)・後藤哲雄(茨城大)
- 12:00 35. 茨城県産カワチマルクビゴミムシに由来する2種類のヒゲダニについて  
○田神一美(筑波大)
- 12:15 36. Integrated management of mites with special reference to post harvest quality of stored grain  
○Ashfaq, M. (Univ. of Agriculture, Faisalabad, Pakistan)
- 12:35 ~ 13:30 昼 食 休 憩

- 13:30 37. 遺伝的構造からみたナミハダニの圃場での分散性  
○上杉龍士・刑部正博(京大院・農)
- 13:45 38. 分子・生態情報に基づく東南・東アジアにおける2種ハダニの分布拡大プロセスの解析  
○高藤晃雄(京大院・農)・日本典秀(生物資源研)
- 14:00 39. マイクロサテライトマーカーを用いた、北海道北部におけるカンザワハダニ個体群の遺伝的構造の解析  
○西村慎哉(住友化学・農業化学品研)・日本典秀(生物資源研)・高藤晃雄(京大院・農・生態情報)
- 14:15 40. COIとITS2領域を用いたスゴモリハダニ類(*Stigmaeopsis*)の分子系統解析  
○伊藤 桂(JSTサテライト高知/高知大・農)・福田達哉(高知大・農)
- 14:30 41. 海産ウシオダニ類のDNA解析法  
○目黒紘子・安倍 弘・岩佐真宏(日大・生物資源)
- 14:45 42. ケナガカブリダニが好むハダニ加害葉匂い成分の分析・合成および生物試験  
○石割隼人・前田太郎(生物資源研)
- 15:00 43. カブリダニの餌パッチ滞在時間決定における情報の価値の変化  
○前田太郎(生物資源研)
- 15:15 44. 人工飼料によるミヤコカブリダニの発育と産卵  
○刑部正博・小川友佳(京大院・農・生態情報)
- 15:30 45. カブリダニが食べたハダニ種の識別  
○日本典秀(生物資源研)
- 15:45 46. ハダニとカブリダニの生存に及ぼす紫外線の影響  
○大塚恵子・刑部正博(京大院・農・生態情報)
- 16:00 47. リンゴ園の下草上に設置した人工素材によるカブリダニ越冬個体群保護の試み  
○川島充博・Jung, C.(韓国・安東大・生命資源科学)

16:15 ~ 16:20 閉会挨拶